

# 新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

## ●新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）の見方

全館		評価点の平均	29年度評価点の平均
<p>④年度の総括</p> <p>平成28年度に改定した「新宿区立基本方針」の達成に向け、各館で様々な事業に取り組みました。特に図書館の根幹である資料の充実について力を注ぐことで、多様な資料や情報を提供することができました。また、課題解決につながる情報の提供を始め、新宿で活動するすべての人々の支援に貢献しました。さらに子どもを始め、様々な人々の読書活動の支援も行いました。</p>	<p>新宿区立図書館基本方針（6つの方針）の自己評価の平均点</p> <p>2.30</p>	<p>新宿区立図書館基本方針（6つの方針）を4段階のレーダーチャートで記載</p>	
<b>基本方針に基づく主な取組・評価</b>			
I 区民に伝える	「資料の充実（基本方針No. 1）」及び「地域資料の充実（同No. 2）」について、区立図書館全館で夏目漱石やオリンピック・パラリンピックに関する資料の収集に努めました。「行政資料の充実（同No. 4）」についても庁内で発行する資料の収集、保存を的確に行い、区民に提供しました。次年度は、これら資料の収集だけでなく、活用に向けた情報収集を行い、検討します。	2.6	<p>サービス計画の評価点と標語は、以下の4段階である。</p> <p>「4 目標又は前年実績を著しく上回る成果かつ先駆的、先進的な取組みを行った場合」</p> <p>「3 目標又は前年実績を上回る成果」</p> <p>「2 目標又は前年実績とほぼ同じ成果」</p> <p>「1 目標又は前年実績を下回る結果」</p> <p>そのうち、評価点が「4」「3」「1」で特筆すべき内容を中心に記載</p>
II 区民に支える	「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」については、全館で取り組み、様々な利用者への配慮した図書館サービスを行いました。なかでも障害者への支援については、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助、字幕や手話付の映写会を開催するなど、障害があっても図書館利用の妨げにならない工夫を行いました。次年度は様々な人々への活動を支援するとともに、図書館サービスを支援いただいている活動についても広く紹介していきます。	2.3	
III 区民が集う	全館で「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」や「情報の生産・発信・交流の支援（同No. 14）」に取り組みました。引き続き、区民ニーズを的確に捉え、魅力あるイベントの実施や集客の工夫に努めます。また「区民との協働（同No. 15）」については、図書館サポーターの活動を広く紹介するとともに、区民の自発的な活動発表の機会や環境を整備していきます。	2.2	
IV 子どもの成長を支える	「新宿区子ども読書活動推進計画（同No. 16）」では、推進会議を開催し、各事業の進捗状況を確認しました。その中で、区立図書館における子どもへの貸出冊数や不読率について、目標を大きく上回っていることから、新たな指標の検討が必要です。全館で取り組んでいる「調べる学習コンクール」の参加については、引き続き学校と連携し、応募作品の質の向上に努めていきます。	2.3	
V ICTの利活用	システム更新後に導入した新しい機能について、利用者への周知を的確に行い、利用者の利便性の向上に努めました。また、区のホームページから独立した図書館のホームページを作成し、イベント情報を始め、休館日や図書館サービスをわかりやすく表示し、発信しました。引き続き、区民が必要とする情報を発信していきます。また、区立図書館全館に導入している各種データベースの活用方法など、周知を工夫していきます。	2.2	<p>自己評価の平均点 ※基本方針の項目に対し、複数事業を行っている場合の平均点</p>
VI 図書館環境の整備	「利用満足度の高い図書館運営（同No. 28）」では、四谷図書館の休館日を変更したことにより、利用機会の充実に貢献しました。31年度からは月曜休館と火曜休館にグループ分け、より利便性を高めていきます。また、これまででも人材育成に努めてきましたが、効果的な運営を行うとともに接客を高め、サービスの質の向上に努めていきます。	2.3	
その他の取組み	夏目漱石に関連した事業については、全館で取り組む体制を整え、資料の収集のほか、文化観光課の所管する情報誌「新宿フィールドミュージアム」を活用し、全館の漱石関連イベント・展示を多くの区民等に周知しました。また、全館でオリンピック・パラリンピックに関する資料の収集に努めるとともに、常設展示を設けたりしました。次年度も引き続き全館で取り組んでいきます。さらに、全館で「障害を理由とする差別の解消に関する法律」の内容を理解し、必要に応じ合理的配慮が行えるように努めたり、防災マニュアルの整備や訓練を行い、利用者の安全確保に努めました。		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

全館

<p>◎年度の総括</p>	<p>平成28年度に改定した「新宿区立図書館基本方針」（以下、「基本方針」という。）の達成に向け、各館で様々な事業に取り組めました。特に図書館の根幹である資料の充実について力を注ぐことで、多様な資料や情報を提供することができました。 また、課題解決につながる情報の提供を始め、新宿で活動するすべての人々の支援に貢献しました。さらに子どもを始め、様々な人々の読書活動の支援も行いました。</p>	<p>評価点の平均</p> <p>2.30</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度評価点の平均</p>
<p>I 区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」及び「地域資料の充実（同No. 2）」について、区立図書館全館で夏目漱石やオリンピック・パラリンピックに関する資料の収集に努めました。「行政資料の充実（同No. 4）」についても庁内で発行する資料の収集、保存を的確に行い、区民に提供しました。次年度は、これら資料の収集だけでなく、活用に向けた情報収集を行い、検討します。</p>	<p>2.6</p>	<p>2.6</p>
<p>II 区民を支える図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」については、全館で取り組み、様々な利用者への配慮した図書館サービスを行いました。なかでも障害者への支援については、筆談ボードを活用したコミュニケーションや、検索等の補助、字幕や手話付の映写会を開催するなど、障害の有無に問わず図書館が利用できるような工夫を行いました。次年度は様々な人々への活動を支えるとともに、図書館サービスを支えていただいている活動についても広く紹介していきます。</p>	<p>2.3</p>	<p>2.3</p>
<p>III 区民が集う図書館</p>	<p>全館で「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」や「情報の生産・発信・交流の支援（同No. 14）」に取り組めました。引き続き、区民ニーズを的確に捉え、魅力あるイベントの実施や集客の工夫に努めます。また「区民との協働（同No. 15）」については、図書館サポーターの活動を広く紹介するとともに、区民の自発的な活動発表の機会や環境を整備していきます。</p>	<p>2.2</p>	<p>2.2</p>
<p>IV 子どもの成長を応援する図書館</p>	<p>「新宿区子ども読書活動推進計画（同No. 16）」では、区立の各学校のPTA代表者や学識経験者で構成する新宿区子ども読書活動推進会議を開催し、各事業の進捗状況を確認しました。その中で、区立図書館における子どもへの貸出冊数や不読率について、目標を大きく上回っていることから、新たな指標の検討が必要です。全館で取り組んでいる「調べる学習コンクール」の参加については、引き続き学校と連携し、応募作品の質の向上に努めていきます。</p>	<p>2.3</p>	<p>2.3</p>
<p>V ICTの推進</p>	<p>システム更新後に導入した新しい機能について、利用者への周知を的確に行い、利用者の利便性の向上に努めました。また、区のホームページから独立した図書館のホームページを作成し、イベント情報を始め、休館日や図書館サービスをわかりやすく表示し、発信しました。引き続き、区民が必要とする情報を発信していきます。また、区立図書館全館に導入している各種データベースの活用方法など、周知を工夫していきます。</p>	<p>2.2</p>	<p>2.2</p>
<p>VI 図書館環境の整備</p>	<p>「利用満足度の高い図書館運営（同No. 28）」では、四谷図書館の休館日を変更したことにより、利用機会の充実に貢献しました。31年度からは月曜休館と火曜休館にグループ分け、より利便性を高めています。また、これまで人材育成に努めてきましたが、効果的な運営を行うとともに接遇を高め、サービスの質の向上に努めていきます。</p>	<p>2.3</p>	<p>2.3</p>
<p>その他の取組み</p>	<p>夏目漱石に関連した事業については、全館で取り組む体制を整え、資料の収集のほか、文化観光課の所管する情報誌「新宿フィールドミュージアム」を活用し、全館の漱石関連イベント・展示を多くの区民等に周知しました。また、全館でオリンピック・パラリンピックに関する資料の収集に努めるとともに、常設展示を設けたりしました。次年度も引き続き全館で取り組んでいきます。 さらに、全館で「障害を理由とする差別の解消に関する法律」の内容を理解し、必要に応じ合理的配慮が行えるように努めたり、防災マニュアルの整備や訓練を行い、利用者の安全確保に努めました。</p>	<p></p>	<p></p>

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

中央・こども図書館

<p>②年度の総括</p>	<p>中央・こども図書館の役割の一つである区立図書館の統括に力を注ぐことができました。特に変化の激しい時代に対応していくためには、基本方針に基づき、適切な計画を立て、計画の進捗状況や成果に対する評価・公表を行うことが必要です。そのため、このような評価を行い、よりよいサービスの提供に向けた改善に努めました。 次年度は、中央・こども図書館での事業についても力を注ぎ、区民にやさしい知の拠点としての図書館づくりを行います。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>1.94</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I 区民に伝える 図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」については、夏目漱石やオリンピック・パラリンピックに関連する資料を全館で収集に努めるよう周知し、中央図書館では購入点数は少ないながらも過去のオリンピック・パラリンピックで活用した選手などの資料を収集しました。 また、「地域資料の充実（同No. 2）」では、新宿区にゆかりの作家等のマンガの収集を開始し、赤塚不二夫の作品を64点購入しました。 さらに「電子資料等の活用（同No. 3）」については、先進自治体への視察など情報収集に努めましたが、なお課題があり、継続して検討しました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>II 区民を支える 図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」については、家庭配本の促進などを行いましたが利用が伸び悩み、周知方法などの改善が必要です。 また、「区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援（同No. 9）」については、ビジネス情報支援相談会の申込数が減っており、相談会参加者のニーズを調査する必要があります。 さらに「行政支援（同No. 11）」については、行政資料や地域情報を常時収集していますが、その活用や庁内レファレンスの周知など、検討が必要です。</p>	<p>1.8</p>	
<p>III 区民が集う 図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」では、朗読会や考古学講座などの図書館講座を開催しましたが参加人数に伸び悩み、内容を始め、周知方法などの見直しが必要です。 また、「区民との協働（同No. 15）」については、図書館サポーターの協力の元、様々な活動していますが、サポーターの登録人数は増えているもの活動回数は減っていることから、活動を生かせる場や体制などの支援が必要です。</p>	<p>1.5</p>	
<p>IV 子どもの成長を 支援する図書館</p>	<p>「読書活動への支援（同No. 18）」では、学校や児童館等への団体貸出を充実し、区内全域の子育て支援施設での読書活動を支援しました。 また、「学校等との連携（同No. 20）」については、朝読書や調べ学習で使用するためのテーマ別資料セットを充実しました。一方、各地域館で実施する「図書館を使った調べる学習コンクール」については、今年度は残念ながら参加人数が減ってしまいました。しかしながら、全国コンクールでの成果に向上が見られることから、引き続き取り組んでいきます。</p>	<p>2.1</p>	
<p>V ICTの 推進 の活用</p>	<p>「図書館情報システムの充実（同No. 22）」については、年末年始を活用して、当初の予定どおり滞りなく図書館情報システム更新を行いました。システムの更新に伴い、返却期限リマインドメールの配信や、順番予約など新たなサービスを開始しました。 また、「ICTのさらなる活用（同No. 24）」では、新宿ゆかりの人物データベースに情報を追加しました。また、電子書籍等の活用について、職員がフォーラムに参加したり、先進自治体への視察などに取組み、検討を深めました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>VI 図書館 環境の 整備</p>	<p>「利用満足度の高い図書館運営（同No. 28）」では、月曜一斉休館の改善について新宿区第一次実行計画等に位置付け、平成31年度に実施する休館日変更に向けた準備を開始しました。 また、「人材の育成・活用（同No. 29）」については、中央・こども図書館と地域図書館との相互派遣研修や、中央・こども図書館内で他の係の業務体験研修を行い、業務の相互理解、臨機応変な対応などの習得に努めました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>その他の 取組み</p>	<p>全館を統括する取組みとして、図書館資料の選定を始め、障害者等への配慮、利用者の安全確保など適切に行うことができました。また、平成29年9月に漱石山房記念館が開館したことに合わせて、全館で漱石に関するイベントや展示に取り組むよう指示し、中央図書館では、「声優が読む漱石とその弟子たち」というタイトルの朗読会を平成29年9月30日行いました。主に生活者としての漱石と漱石山房に集まった弟子たちに焦点をあてた内容とし、声優による朗読を行うことで、これまであまり文学に触れなかった若者にも、より一層の興味を持っていただくことができました。さらに、オリンピック・パラリンピックに関する事業についても全館で資料収集に努めるよう周知するとともに、中央・こども図書館では常設展示コーナーの充実を図りました。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

四谷図書館

<p>④年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、「I区民に伝える図書館」「III区民が集う図書館」「VI図書館環境の整備」については、前年実績を上回る取組みをほぼ実施できました。 内藤新宿をはじめとする新宿・四谷の歴史や文化を区民に伝えるとともに、国内・海外の雑誌や外国語の図書の収集に貢献しました。イベントについては課題も多く残りましたが、平成29年度の実施結果を踏まえ事業プランを見直し、魅力あるイベントの実施に引き続き取り組んでいきます。</p>	<p>29年度評価点の平均  2.55</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度評価点の平均</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」については、外国語資料、特に英語多読関連語資料や受賞作品等の受入れを積極的にいき、これまでの所蔵資料の最高点数である3,000点（※）まで大きく伸ばすことができました。また、「地域資料の充実（同No. 2）」については、名誉区民やなせたかし氏の新刊を積極的に受入れ、装飾も充実させるなど同コーナーの充実を図ることができました。一方、28年2月に解散した霞ヶ丘町会関連の資料の収集に努めましたが、公開できるほどには至りませんでした。地域資料については引き続き、着実に収集していくことが必要です。</p> <p><small>（※）資料購入については、「新宿区立図書館資料収集要綱」第6条1項における年間の収集方針及び購入計画に基づき行っている。四谷図書館の外国語資料の収集は、平成29年度サービス計画の中央・こども図書館の総合的な方針に基づき、取組むこととしている。</small></p>	<p>2.8</p>	
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「利用者にわかりやすく役立つサービスの提供（同No. 7）」については、パスファインダーの更新やインターネットを活用した情報検索講習会は予定通り行うことができましたが、地域資料レファレンス講座については講師との調整が折り合わず実施できませんでした。また、「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」については、当初の予定通り、高齢者を対象としたビブリオバトルを年2回実施したほか、四谷保高齢者総合相談センター等と連携した認知症サポーター養成講座等を実施しました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」については、内藤新宿・四谷地域に関連した事業として、内藤とうがらし調理ワークショップや街歩き「江戸城ぶらり」など6つの事業を実施し、多くの事業で昨年度を上回る参加者で、内藤新宿の成り立ちや江戸城の地勢、構造などについて知ってもらうことができました。また、「多様な学習機会の提供（No. 13）」として、NPO法人と連携し、英語多読講座を4回実施し、こちらも昨年度を大きく上回る参加者があり、講座の内容も好評でした。</p>	<p>2.8</p>	
<p>IV子どもを支援する図書館</p>	<p>「読書環境の充実（同No. 17）」については、児童生徒に対してスタンプラリーを実施し、昨年度を大きく上回る参加者を得ることができました。また、「区立図書館の利用の促進（No. 19）」については6事業を計画し、理科に興味を持ってもらうことも目的として幅広い分野を網羅した「科学工作会」にも多くの参加者があったほか、介助犬を招いたバリアフリーへの理解を深めるイベントも好評でした。一方、講師との調整ができず、未実施に終わった企画もありました。さらに、「学校等との連携（No. 20）」では、児童生徒に対する調べ学習支援を行うとともに、小中学校でのブックトークや、職場体験受入れなどを行いました。</p>	<p>2.7</p>	
<p>VICTの活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No. 24）」については、計画どおり、受託当初から指定管理者が実施しているデジタル古地図アプリ『内藤新宿ぶらり』の更新を行いました。また、商用データベースの利用方法を「調べもの講座」などでテーマとして取り上げ、利用者への周知を図りました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>「利用満足度の高い図書館運営（同No. 28）」の一環として行った月曜開館（火曜休館）については、休館日の変更により、新たな図書館利用者の獲得につながりました。また、「人材の育成・活用（同No. 29）」として、安定した人材の確保と研修内容の共有を図りました。さらには、「利用者の快適な環境づくり（同No. 30）」として、これまで整備していたアロマデフューザーに加え、空気清浄機等の増設も行いました。</p>	<p>3.0</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>漱石山房記念館が開館したことに合わせて、多くの区民に夏目漱石に興味を持ってもらうため、平成29年8月11日から9月13日まで、「作家になる前の夏目漱石」というテーマでの展示を行いました。「文豪」としてのイメージにある漱石ですが、展示にあたっては作家になる前の漱石に焦点をあて、より親しみを感じてもらえるよう留意し、資料の紹介を行いました。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

鶴巻図書館

<p>㊤年度の総括</p>	<p>「I 区民に伝える図書館」として実施した2つの取組みについては、いずれも前年度実績を上回る取組みを実施することができました。文豪『夏目漱石』と最も繋がりが深い地域という特性を活かし、常設展示コーナーを設け、様々な事業に取組みました。また、区の地場産業である印刷製本業の盛んな地域にあるため、その知識や理解を深めるために、製本講座を開催しました。 次年度も引き続き、夏目漱石に関する事業を始め、魅力あるイベントを開催します。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>2.46</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I 区民に伝える 図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」については、夏目漱石に関する資料を常設展示することにより、これまで以上に資料が貸し出されました。また、夏目漱石に関する問合せについても迅速に対応することができ、利用者から好評でした。 さらに、「電子書籍等の活用（同No. 3）」では、展示棚にタブレット端末を併設し、自由に電子図書の閲覧体験ができるように工夫することによって、電子書籍の関連図書の貸出が大幅に増えました。</p>	<p>3.5</p>	
<p>II 区民を支える 図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」では、コミュニケーションボードを設置し、会話で意思疎通が困難な方への対応ができました。 また、「区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援（同No. 9）」については、早稲田大学と連携した夏目漱石関連の講演会を9月と3月に実施したり、地場産業の理解を深めるため、製本講座を開催しました。さらに、視覚障害の方々が活動している朗読グループによる朗読会を7月と11月に開催しました。作中に登場する歌をBGMとして使用するなど、様々な工夫を凝らし参加者から好評を得るなど概ね計画どおり事業を実施することができました。</p>	<p>2.2</p>	
<p>III 区民が集う 図書館</p>	<p>「情報の生産・発信・交流の支援（同No. 14）」では、平和・戦争について考える契機となる図書の収集、展示及びイベントを実施しました。特に、区内全館で行っている平和事業の主旨を説明し、参加者が作った折り鶴を展示するなど、工夫して取り組みました。 また、「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」については7つの事業を行い、概ね好評でした。特に、落語会については、7回を迎え、幅広い年代層の参加がありました。一方、暮らしの講座については、参加者が減っており、周知や宣伝方法の工夫が必要です。</p>	<p>2.3</p>	
<p>IV 子どもの成長を 応援する図書館</p>	<p>「読書活動の支援（同No. 18）」については、近隣の児童関連施設等へ読み聞かせを実施することによって、来館促進に繋げることができました。 また、「区立図書館の利用促進（同No. 19）」として実施した10事業については、概ねどの事業も好評であり、前年度に比べて参加者が増加しました。特に、親子で一緒に参加する催しは、人気が高い満足度も得られました。 「学校等との連携（同No. 20）」では、「調べる学習コンクール」関連事業に取り組み、特に調べる学習ガイダンスや、保護者向け説明会など、出張授業も行うことで、応募作品の内容の充実に繋げることができました。</p>	<p>2.6</p>	
<p>V ICTの 推進 の活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No. 24）」では、商用データベースの活用について、利用者からの問い合わせに迅速に応えられるようスタッフ研修を定期的に行うとともに、マニュアルの整備を行いました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI 図書館 整備 環境の</p>	<p>「利用者の快適な環境づくり（同No. 30）」のために、書籍消毒機や天然アロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供しました。また、危機管理マニュアルを更新するとともに、緊急対応時の対処マニュアルも整備しました。さらに、年3回の防災訓練を実施し、利用者の安全確保に努めました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>その他の 取組み</p>	<p>夏目漱石生誕150周年を機に平成29年1月から常設展示を行っています。毎月、一定数の貸出があり、特に「今月の1冊」と題して紹介しているおすすめ図書は貸し出されることが多く、634冊を貸し出しました。また、児童向けの展示を行い、86冊の貸し出しがあり、子どもたちにも関心を向けることができました。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

西落合図書館

<p>②年度の総括</p>	<p>空調更新工事のため、平成29年10月23日から11月24日まで休館しましたが、基本方針に掲げる6つの方針に基づく取組みについては、いずれも前年実績とほぼ同じ効果をあげています。閑静な住宅街の立地を活かしアットホームな雰囲気の図書館運営を心がけ、子育て世帯の利用が多いという地域特性を踏まえ、子育て支援や親子向けの楽しいイベントを中心に開催しました。また、目白文化村ゆかりの文豪をはじめとしたテーマ展示にも力を注ぎました。 次年度も引き続き、地域特性を踏まえた事業に取り組めます。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>2.13</p>	
<p><b>基本方針に基づく主な取組・評価</b></p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I 区民に 伝える 図書館</p>	<p>「地域資料の充実（基本方針No. 2）」では、「落合文豪散策マップ」を750部配付したことに加え、林芙美子と一緒に写真が撮れる顔出しパネルを制作したところ、多くの子どもたちが写真を撮影していました。このことにより、地元の文豪、林芙美子を知るきっかけ作りができました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>II 区民を 支える 図書館</p>	<p>「区民の課題解決支援（同No. 6）」では、利用者の情報検索を的確に支援できるよう、スタッフ全員でレファレンス能力向上を図りました。特に、クラシックCDの検索能力を高めることができました。また、子育て講座を保育園内で開催し、子育て中の方が参加しやすい配慮を行うなど、区民の課題解決支援に貢献しました。 さらに、「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」では、高齢や聴覚障害の方が参加しやすいように、聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備（磁気ループ）を活用しました。</p>	<p>2.2</p>	
<p>III 区民が 集う 図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」については、毎年、地域にゆかりのある人物や史跡をテーマとした朗読会を開催していますが、今年度は、地域の朗読グループの協力のもと、夏目漱石の「夢十夜」を全編朗読し、好評でした。 また、「区民との協働（同No. 15）」について、正月に実施したカルタ会では、参加者に絵札を描いてもらうなど、協働意識を高める事業としたところ、昨年に比べ参加者が増えました。</p>	<p>2.1</p>	
<p>IV 子ども の成長を 支援する 図書館</p>	<p>「読書活動への支援（同No. 18）」については、近隣小学校の朝読書に協力し、181人の参加がありました。 また、「区立図書館の利用促進（同No. 19）」に関する事業を3つ行い、概ね好評でした。 さらに、「学校等との連携（同No. 20）」では、調べる学習コンクール事業のほか、中高生の職場体験などを行い好評でしたが、ビブリオバトルの事業については、学校との調整が折り合わず実施できませんでした。</p>	<p>1.9</p>	
<p>V ICTの 推進 の活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No. 24）」では、タブレット端末を使った初級講座を実施しました。毎回、申込者が多く、ニーズが高いと感じました。また、SNSを活用して情報発信を3回行いました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI 図書館 環境の 整備</p>	<p>危機管理マニュアルに従い、個人情報保護士研修へ参加したり、防災訓練を予定通り実施しました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>その 他の 取組 み</p>	<p>漱石山房記念館開館を記念して、平成29年9月1日～10月20日まで、特別展示「漱石山房記念館開館記念 漱石と木曜会の作家たち」を開催しました。展示した資料は、漱石の著作や関連書籍に加え、漱石を中心とする文学サロン「木曜会」に集まった同時代の作家たちの著作も合わせてたところ、展示冊数45冊に対し、36冊が貸し出されました。また、地域の朗読会の協力を経て開催した朗読会では、参加者が15名あり、好評でした。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

戸山図書館

<p>②年度の総括</p>	<p>「I区民に伝える図書館」として実施した2つの取組みについては、いずれも前年実績を上回る取組みを実施することができました。新宿区の障害者等サービス拠点館として、録音図書や貸出、対面朗読サービスをはじめ、大活字図書を収集するなど多くの読書支援活動を行いました。また、「難しいことも分かりやすく！」をテーマとし、暮らしに役立つ講座やタイムリーな展示を行いました。次年度も引き続き、障害者サービスを中心に取組みます。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>2.56</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」については、障害者サービスと障害児教育に係る資料を計画的に充実させ、800冊近くまで収集することができました。また、「電子資料等の活用（基本方針No. 3）」では、マルチメディアDAISY（※）に収録された絵本や、音声付電子書籍をタブレット端末で体験できるようにしました。また、マルチメディアDAISY教科書のサンプルも用意し、学習障害児へ内容紹介や体験指導も行いました。  <small>（※）マルチメディアDAISY：DAISYとは、CDに収めた録音図書で、見出しから検索して読みたい部分を読んだり、読み飛ばしたりすることができます。3種類のDAISYがあり、資料変換者による朗読したDAISYのほか、文字を合成音声ソフトで読み上げるテキストDAISYや、文字・音声・画像の再生ができるマルチメディアDAISYがあります。マルチメディアDAISYは、音声で読み上げている文字がハイライトされ、文字の大きさや読む速さなどが変えられるので、視覚障害のみならず学習障害、発達障害などで読むことが困難な方など、利用者一人ひとりに最適な状況で利用できます。</small></p>	<p>3.5</p>	
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」について、障害者サービス拠点館としての活動を行いました。特に、日本点字図書館、サビエ図書館等と連携を図り、録音図書や提供に加え、テキストデータでの提供も行いました。その結果、ダウンロード数が6,515件ありました。また、ラジオで朗読した音源を提供していただき、DAISYにして貸出をしたところ、123点貸し出されました。さらに、DAISYやマルチメディアDAISYの利用促進を行うために、視覚障害の方など個別対応で、機器の操作案内をしました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」では、大人のための工作会や映画会など4つの事業を実施し、好評でした。特に、工作会も映画会についても、昨年度を大きく上回る参加者を得ることができました。また、「多様な学習機会の提供（同No. 13）」では、ニュース性のあるタイムリーな展示や、身近な法律相談や医療セミナーなどを実施しました。こちらについても昨年度を上回る利用がありました。</p>	<p>2.4</p>	
<p>IV子どもたちの成長を応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No. 19）」については、4つの事業に取り組みました。特に、中・高校生向けにワールドカフェ（※）の手法をとったワークショップでは、図書館での学びの満足度アップに繋げることができました。また、「学校等との連携（同No. 20）」では、「調べる学習コンクール」関連事業に取り組み、特に個別相談を手厚く行うことで、応募作品の内容の充実に貢献できました。  <small>（※）ワールドカフェ：テーマに対し、意見を出し合って考え、わかりやすく情報をまとめ直し、より深く理解する参加型グループワークを言います。</small></p>	<p>2.5</p>	
<p>VICTの推進</p>	<p>視覚障害者等の資料提供に関して、利用者が求める資料等を迅速に提供するため、音訳したDAISYだけでなくテキストDAISYの製作にも取り組みました。また、製作したデータをサビエ図書館や国会図書館に提供し、「ICTのさらなる活用（同No. 24）」に貢献しました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>消防署が実施している住民と共に行う消防訓練に参加したり、併設している生涯学習館と共に危機管理マニュアルの確認を行うなど、利用者の安全確保に努めました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>夏目漱石生誕150周年を記念して、「漱石」の名の由来や、新宿との関わりなどエピソードも添えた朗読会を平成29年9月9日に開催しました。この朗読会を行った団体は、会員が視覚障害者と健常者の連携によるトークパフォーマンスグループで、参加者が32名あり、好評でした。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

北新宿図書館

<p>②年度の総括</p>	<p>基本方針に掲げる6つの方針のうち、「I区民に伝える図書館」については、前年実績と同じ効果をあげることができました。子ども園や生涯学習館などの複合施設で、やさしさと細やかな心配りを大切にしたい図書館運営を心がけ、外国人の利用が多いという地域の特性を活かし、留学生だけでなく地域住民も対象にした講座と展示に力を入れました。 次年度も引き続き、多文化共生について利用者とともに考え、外国人と日本人が交流できる機会を作るとともに、相互理解を深めていき、各方針に掲げる目標達成に向けて取り組みます。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>2.05</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「地域資料の充実（基本方針No. 2）」では、地域の特性を踏まえ、外国語の資料や地域資料の収集に努めました。昨年度ほど資料を増やすことができませんでした。一方で、地域の団体等の活動に関する情報に関しては積極的に収集し、提供できました。</p>	<p>1.5</p>	
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」について、高齢者の利用が多い地域のため、家庭配本の紹介と利用促進を行い、昨年度を上回る利用がありました。また、外国人利用者にわかりやすい利用案内を行うとともに、外国人が日本の文化に触れる機会を設けるために、和菓子作り教室を開催しました。昨年度は同様の講座を5回開催しましたが、今回は1回とし、他の講座を企画し実施しました。例えば、地域交流館と連携した高齢者向けの朗読会を4回行いました。朗読の内容は、季節に合わせたテーマを設け、参加者に好評でした。さらに、生涯学習館に併設する図書館として、合同祭りに参加し、リサイクル本の提供に努めるなど、積極的に他の施設と連携を行いました。</p>	<p>2.2</p>	
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「多様な学習機会の提供（同No. 13）」では、7つの事業を行いました。特に、タイムリーなテーマの講座は昨年度を上回る参加数のため、回数も増やして開催しました。また、製本工作会や、アクセサリーを作るハンドメイド講座、韓国薬膳料理教室などについても、好評でした。 また、「情報の生産・発信・交流の支援（同No. 14）」については、これまでも全国の旅先を紹介する資料を収集していましたが、新たに韓国のフリーペーパーも収集し、設置しました。</p>	<p>2.2</p>	
<p>IV子どもたちの成長を支援する図書館</p>	<p>「読書環境の充実（同No. 17）」では、定例のおはなし会に加え、日本語学校等と連携した外国語おはなし会も開催しました。 また、「区立図書館の利用促進（同No. 19）」について、北新宿オリジナル読書手帳を配布するなど、読書意欲を引き出す工夫をしました。さらに、季節に応じた子ども向けの各種イベントでは、北新宿こども園の要請に応え、出張おはなし会を実施するなど6つの事業を行い、昨年度よりも上回る参加があり好評でした。このほか、人形劇や映画会なども行いました。</p>	<p>2.1</p>	
<p>VICTの推進</p>	<p>「ホームページの充実（同No. 23）」について、区立図書館のホームページリニューアルの際、利用者からのご意見を伝えるなど貢献しました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>「人材の育成・活用（同No. 29）」では、職員が受講した研修を基に、職員間で情報共有を行いました。また、「利用者の快適な環境（同No. 30）」では、併設している施設と連携し、避難訓練を実施しました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>平成29年9月に漱石山房記念館が開館したことに合わせて、漱石山房記念館開館案内の配布や開館をPRするポップを作って、利用者へ周知しました。また、「こころに漱石」というテーマで平成29年8月18日から10月18日まで、夏目漱石の著作・関連書籍36点の展示を行い、ブックリストを配布しました。</p>		



新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

中町図書館

<p>②年度の総括</p>	<p>「Ⅱ区民を支える図書館」「V ICTの利活用の推進」の取組みについては、前年実績を上回る効果を上げることができました。牛込神楽坂エリアの住宅街にある小さな図書館ですが、図書館の規模以上にイベントを開催し、様々な事業で地域と連携しました。また、神楽坂の資料収集だけでなく、子育て支援にも力を注ぎました。 次年度も引き続き、地域密着型の図書館運営を行うとともに、魅力あるイベントを開催します。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>2.64</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I 区民に伝える 図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」では、地域特性を踏まえ、神楽坂に関する小説やエッセイ、名所などの資料収集に努めました。また、地域資料コーナーを拡充するとともに、より見やすく、魅力的にリニューアルしました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>II 区民を支える 図書館</p>	<p>「区民の課題解決支援（同No. 6）」では、子育て支援に関する資料を集め、コーナーを設けたり、図書館だよりにレファレンス事例と、その調べ方を掲載しました。 また、「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」では、スタッフ全員がサービス介助士の講座を受講し資格を取得しました。中町図書館はエレベーターのない施設のため、介助が必要な利用者を見かけた場合、スタッフが荷物を運んだり、予約本の受け渡しを積極的に行いました。さらに、高齢者施設や地域センターと連携して新たに「中町まちかど図書館」の取組みを開始するとともに、地域の大学と連携して児童向け算数教室やプログラミングをテーマとした展示を行い、好評を得ることができました。</p>	<p>3.0</p>	
<p>III 区民が集う 図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」では、映画会や歴史講座など9つの事業を実施しました。特に、地域の郷土歴史家による歴史講座や、地元NPOのガイドによる史跡散歩は、神楽坂の魅力を伝えるイベントとなりました。また、希少価値の高い古書や絵本の原画の展示、大人向け「本のお楽しみ袋」(※)を行ったところ好評でした。朗読会では、聞くだけでなく参加者自身が朗読できる会にするなどの工夫をしました。</p> <p>(※) 本のお楽しみ袋：図書館員が選んでセットにした3冊程度の本を題名を隠して袋詰めしたものを言います。</p>	<p>2.3</p>	
<p>IV 子どもの成長を 応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No. 19）」では、12の事業を開催し、いずれも好評でした。調べる学習コンクールで担当した4小学校の応募数は、区立図書館全体の中で最多の応募があり、全国コンクールで優秀賞2点、奨励賞2点の受賞につなげることができました。また、工作会についても昨年を上回る参加がありました。さらに、3月に行った利用者懇親会で、赤ちゃんタイム(※)についての効果を感じられたため、月2回の実施から、平成30年度からは毎週火曜日の10時30分から12時まで行うことにしました。</p> <p>(※) 赤ちゃんタイム：赤ちゃん連れの利用者が気兼ねなく利用できるよう、他の利用者に配慮して頂く時間の設置のことです。</p>	<p>2.6</p>	
<p>V ICTの 利活用 の推進</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No. 24）」では、AR技術(※)のワークショップを小学校で行い、10人の参加がありました。また、これまでもFacebookを活用して新着図書を紹介や、イベント情報を発信してきましたが、昨年度の100回から149回に増やして発信しました。</p> <p>(※) AR技術：ポケモンGOのように、実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、目の前にある世界を仮想的に拡張するもの（拡張現実）を言います。</p>	<p>3.0</p>	
<p>VI 図書館環境の 整備</p>	<p>「利用者の快適な環境（同No. 30）」では、これまでも防災訓練を行ってきましたが、初めて、複合施設全館合同防災訓練を利用者を含めて行いました。また、防災マニュアルを更新するなど、利用者の安全確保に努めました。</p>	<p>2.5</p>	
<p>その他の 取組み</p>	<p>漱石山房記念館が開館したことに合わせて、「神楽坂まち飛びフェスタ2017」では、夏目漱石を描いたしおりを作成し、平成29年10月14日～11月3日の期間に476点配布しました。また、「夏目漱石と神楽坂」をテーマにしおり配付と同期間に展示を行いました。その際、「坊ちゃん」の中で神楽坂に言及されている箇所や、英国留学後の漱石が矢来町に住んでいたことなどを紹介した15ページにわたる冊子を独自に作成し、漱石の著作や関連本22点に添えました。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

角筈図書館

<p>②年度の総括</p>	<p>ビジネス関連資料の収集、提供を中心に「I区民に伝える図書館」については、前年実績を上回る取組みを行うことができました。新宿西口の高層ビルが林立する地域にあり、多くのビジネスマンが利用する図書館という地域特性を踏まえ、ビジネス支援に力を注ぎました。次年度も引き続き、ビジネス関連資料を多く取り揃えるとともに、ファッションに関する講座なども開催します。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>2.37</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I区民に伝える図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」では、地域特性を踏まえ、ビジネスに関する資料の収集に努めました。特に、業界紙や社史、年鑑・統計類の資料についてはさらなる充実を図るとともに、新たにコーナーを設け、ジャンル別に配置するなど、わかりやすく、利用しやすい棚づくりを行いました。</p>	<p>2.7</p>	
<p>II区民を支える図書館</p>	<p>「区民の課題解決支援（同No. 6）」について、これまでも行ってきた起業・創業等のビジネス支援講座に加え、ファッションに関する最新情報の講座を開催しました。講座の開催にあたっては、近隣のファッション関係の大学と連携したところ、区内の商業施設のバイヤーやアパレルメーカーの方々が受講されるなど、多くの参加者に好評でした。一方で毎月開催しているビジネス相談会は利用者ニーズに応えられなかった部分もあるため、改善が必要です。</p>	<p>2.5</p>	
<p>III区民が集う図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」では、4つの事業を実施し、寄席やまちあるきなどは、多くの参加があり好評でした。一方、「年知ってライフプラン講座」は、予定していた参加者数には届かず、タイトルのつけ方や、開催時期、周知方法について課題が残りました。また、「情報の生産・発信・交流の支援（同No. 14）」では、全館で取り組んでいる平和事業に合わせ、戦争と平和及び人権に関する資料の展示を行いました。貸出点数は多くはありませんが、多くの方が手に取り、様々なことを考える契機に繋げることができました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>IV子どもたちの成長を応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No. 19）」については、11の事業を実施しました。そのうち天候に恵まれず中止となった事業がありましたが、概ね好評でした。また、「学校等との連携（同No. 20）」では、「調べる学習コンクール」関連事業に取り組み、特に調べる学習ガイダンスや、出張授業も行うことで、応募作品の質の向上に努めました。その結果、全国大会では『文部科学大臣賞』を取る作品が誕生しました。</p>	<p>2.4</p>	
<p>VICTの推進</p>	<p>「ホームページの充実（同No. 23）」では、区立図書館のホームページリニューアルに向け、業界紙情報やビジネス支援事業のページを整理するなど、準備に取り組みました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI図書館環境の整備</p>	<p>「利用者の快適な環境づくり（同No. 30）」のために、書籍消毒機や天然アロマディフューザーを設置し、快適な読書環境を提供しました。また、危機管理マニュアルを更新するとともに、緊急対応時の対処マニュアルも整備や、防災訓練を実施し、利用者の安全確保に努めました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>漱石山房記念館の開館に合わせて夏目漱石とその関連人物の著作を69冊を展示し、そのうち40冊が貸し出されました。また、計画にはありませんでしたが、ビブリオバトル（知的書評合戦）のテーマを「ソーセキ」とし行ったところ、20名の参加がありました。ビブリオバトルは、3人のバトルがおすすめの本をそれぞれ持ち寄り、プレゼンテーションを行い、参加者から質問に答えチャンプ本を決めるゲームです。プレゼンテーションの良し悪しで決まること多いビブリオバトルですが、夏目漱石が大好きな二人の作家、いとうせいこうと奥泉光の漫談を文章化した『漱石漫談』という本が選ばれ、漱石の魅力を参加者に伝えることができました。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

大久保図書館

<p>②年度の総括</p>	<p>基本方針に基づく6つの方針のもと、多文化共生の視点を取入れ、様々な事業を実施しました。多くの外国人住民の方々が暮らし、学び、働く地域にある図書館という地域特性を踏まえ、中国語、韓国（朝鮮）語で対応可能なスタッフを揃えるなど、多文化共生のサービスに力を注ぎました。 次年度も国際理解、国際友好の場を提供していきます。</p>	<p>29年度 評価点の 平均  2.18</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I 区民に伝える 図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」では、地域特性を踏まえ、外国語資料の収集に努めました。これまでも収集していた韓国（朝鮮）語、中国語、英語に加え、ポルトガル語、ネパール語など、様々な言語の絵本の寄贈を受入れ、扱っている言語は22言語まで広げることができました。また、生活に関わる身近な情報についても、様々な言語の資料を収集し、発信しました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>II 区民を支える 図書館</p>	<p>「利用者にわかりやすく役立つサービスの提供（同No. 7）」では、中国の留学生によるNPO団体と連携し、スマホ操作の講習会を実施しました。参加者は、中国の留学生との国際交流の場となったとともに、検索方法や写真の撮り方を学ぶことができました。 また「外国人・障害者・高齢者に対する支援（同No. 8）」では、アラビア語、アムハラ語（エチオピア）、ネパール語など複数言語によるおはなし会を開催し、昨年度を上回る参加がありました。親子で楽しむとともに国際理解、国際友好の場を提供することができました。</p>	<p>2.8</p>	
<p>III 区民が集う 図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」では、地域に住む外国人の読書支援として、「ビブリオバトル（知的書評合戦）インターナショナルオオクボ」を開催しました。外国の方6名（韓国、ネパール、ベトナム、スリランカ、UAE、アメリカ）のバトルを合わせ、47名の観覧者で盛り上がり、本を通しての国際交流に貢献することができました。また、「新宿学」講座では、江戸時代から現代までの大久保の歴史を紹介する内容とし、地域に住む方々の参加があり、こちらも好評でした。</p>	<p>2.2</p>	
<p>IV 子どもの成長を 応援する図書館</p>	<p>「区立図書館の利用促進（同No. 19）」では、親子向け事業を3つ開催し、特に人形劇は昨年度を上回る参加がありました。一方、工作会については、方法を変えたところ、参加者が減ってしまったため、工夫が必要です。 「学校との連携（同No. 20）」については、中学生の職場体験の一環として実施し、アイデアを出しながら本の選定やPOPの作成に取り組み、斬新な展示を行うことができました。また、出張サービスや図書館見学、職場体験の受入れの一環として日本語学校の図書館見学なども行いました。</p>	<p>1.9</p>	
<p>V ICTの 推進の 利活用</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No. 24）」では、新聞のデータベース等を使用したレファレンス回答や、的確な情報提供に努めました。また、Facebookで情報発信を行ったところ、93の閲覧と7の反応がありました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI 図書館 整備 環境の</p>	<p>「利用満足度の高い図書館運営（同No. 28）」の一環として行っている利用者アンケートでは、ルビ付きで簡易な日本語で表現をした外国の方用のアンケートを作成しました。多数の外国の方から回答していたが、多文化サービスの理解が進んでいるという結果が得られました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>その他の 取組み</p>	<p>漱石山房記念館の開館に合わせて、「多文化展示 Around the World ~special issue~ 世界のSoseki」と題する展示を平成29年8月29日から10月9日まで行いました。内容は、世界の様々な言語で翻訳をされた夏目漱石の作品を一堂に集めて、50冊の展示を行いました。閲覧している日本の方々は、興味深げに他の言語の本を1冊1冊手に取る姿が、外国の方々は、母語を熱心に読み込む姿が印象的で、漱石文学は、世界に誇れる文学であることを再確認する場となりました。</p>		

新宿区立図書館サービス計画の評価（総括）

下落合図書館

<p>◎年度の総括</p>	<p>平成29年3月に開館し、初めて1年間を通した図書館運営を行いました。中央図書館が41年もの長きにわたり多くの方に利用されたという地域特性を活かし、「子育て・家庭支援」「介護・高齢者」「地場産業・地域資料」のコーナーを設けるとともに、その資料収集に力を注ぎました。 次年度も幅広い世代が利用できる図書館をめざし、事業に取組みます。</p>	<p>29年度 評価点の 平均</p> <p>2.16</p>	
<p>基本方針に基づく主な取組・評価</p>			<p>29年度 評価点の 平均</p>
<p>I 区民に伝える 図書館</p>	<p>「資料の充実（基本方針No. 1）」では、地域特性を踏まえ、介護や子育てに関する資料を常設で行いました。特に、介護に関する資料は、昨年度より約200冊増やすことができました。また、地域との繋がりが深いマンガ家である「手塚治虫」「赤塚不二夫」に関する資料を収集し、コーナーを設けて148冊を展示しました。さらに、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの機運を高めるために、常設展示コーナーを設け、常時70点の展示を行っています。</p>	<p>2.7</p>	
<p>II 区民を支える 図書館</p>	<p>「区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援（同No. 9）」について、落合保険センターで実施している健診時の読み聞かせについては、多くの方に参加していただきました。しかし、同敷地内の介護施設や保育施設と連携したおはなし会などの事業を実施する予定でしたが、先方との折り合いがつかず実施できませんでした。</p>	<p>1.5</p>	
<p>III 区民が集う 図書館</p>	<p>「魅力あるイベントの実施（同No. 12）」では、6つの事業に取り組みました。いずれも概ね好評でしたが、なかでも施設に備え付けている聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備（磁気ループ）をイベントの中で紹介するなど、活用に貢献しました。また、地域特性を踏まえ、近隣の染色に関する団体や新宿歴史博物館と連携した展示を行い、地域産業を身近に感じいただきました。</p>	<p>2.2</p>	
<p>IV 子どもの成長を 応援する図書館</p>	<p>施設の特徴であるオープンライブラリースペースを活用した青空かみしばいを行ったり、「新宿区子ども読書活動推進計画」に貢献しました。また、館内に設置した水槽で神田川や妙正寺川の生物を飼育し、生物多様性の理解や調べ学習を支援しました。さらに、こども司書認定講座では、タブレットの活用や、レファレンス指令を解くゲーム形式でのワークショップを開催し、多くの子どもたちに図書館員の仕事に興味を持っていただくことができました。</p>	<p>2.4</p>	
<p>V ICTの活用 の推進</p>	<p>「ICTのさらなる活用（同No. 24）」では、案内ロボットを活用し、利用者自身が図書館の利用案内を始め、地域情報が得られるような工夫を凝らしました。また、夏目漱石や赤塚不二夫、手塚治虫などの書籍を紹介したり、ロボットによるおはなし会など多岐にわたって活用しました。</p>	<p>2.0</p>	
<p>VI 図書館環境の 整備</p>	<p>開館当初に区立図書館で初めて導入したデジタルサイネージによる座席管理システムについて、適宜、適切にアプリの更新を行ったり、利用者への浸透を図るなど、モデルケースとしての役割と、「利用者の快適な環境づくり（同No. 30）」に貢献しました。</p>	<p>2.3</p>	
<p>その他の取組み</p>	<p>漱石山房記念館の開館に合わせて、平成29年9月5日から10月29日まで行った【漱石山房記念館開館記念！特別展示「夏目漱石作品への招待状」】では、50冊を展示し、そのうち108冊が借りられました。また、図書館の情報を発信している案内ロボットに、漱石山房の開館のお知らせと、夏目漱石作品を紹介コンテンツを増設したところ、281回の閲覧回数がありました。漱石になじみの少ない児童や若者に向けて、楽しく地域ゆかりの作家夏目漱石を知ってもらう機会を提供することができました。 さらに、様々な観点からオリンピック・パラリンピックを捉え、オリンピック・パラリンピックの精神、学べるスポーツの本、アスリートの伝記、障害をテーマにしている本など多岐にわたる展示コーナーを常設しました。</p>		